

<白金標準、レンジ離脱を待つ値動きで強気維持・・・>



(出所：オアシス)

中国経済の不確実性で、中国消費の後退を受けシンガポール取引所で鉄鉱石の価格が2.6%の下落を示すと、翌日にはロンドン市場（LME）で、アルミの価格が1.2%を超える下落を行っている。特に中国は巨大経済圏構想「一帯一路」に基づき東南アジア諸国に約束したインフラ支出が30%の500億ドル超えを履行できていない事が判明するなど、中国の経済発展にも陰りが見えだしている。

そのため3月に入り一時銅価格が9000ドルを回復し、NY市場でPGM価格にショートカバーが入り、一時白金標準先物でも4498円まで高値を試す動きを見せたが、人民元安も重なり一時4351円まで下値を試している。しかしオーストラリア政府は、自動車排ガス規制案で適用開始の2025年1月1日を7月1日に延期するなど規制案の緩和策を発表している。またバイデン大統領は、自動車排ガス規制の強化を発表し、PGM触媒が必要とするプラグインハイブリッド車の販売を急激に押し上げる可能性もあり、需給で見た供給不足が表面化すると4400円を固め4500円へ価値の見直しが進むと思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが横ばいしながら、シグナルも横ばいしておりクロスには至っていない。RCIは短期が上昇し、長期も切り上げており強気を維持しているが、MACDの乖離が縮小した状態であり転換には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,390,000 円(2024 年 4 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 4 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>